

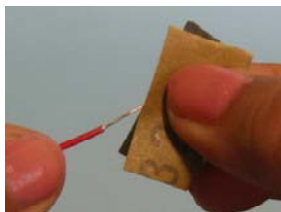


### 「電気で明かりをつけよう」 ～ 電気を通すもの 通さないもの ～

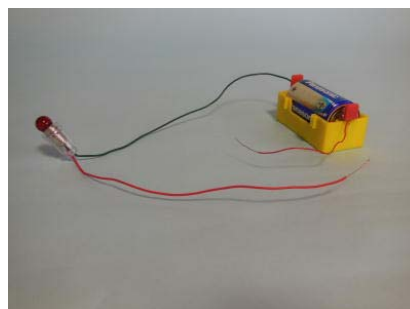
小学校3年生の「明かりをつけよう」の単元では、豆電球と導線（どうせん）、乾電池（かんでんち）をひとつなぎにし、回路（かいろ）ができたときに、明かりをつくことを確かめます。そこで、回路の一部を切り離して、「電気を通すものテスター」を作ってみました。この回路の一部に身近なものを入れて、明かりがつくか試してみましょう。

また、導線をおおっている被覆（ひふく）をはがしたら、紙やすりでみがいておきましょう。

教科書にある実験では、光沢のあるものがよく電気を通すようなので、今回は「キラキラ光るもの」を中心に試してみました。



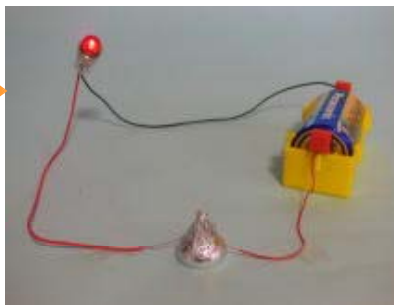
紙やすりでみがく



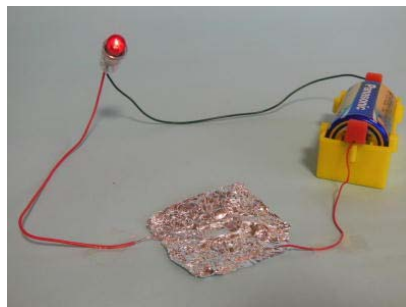
電気を通すものテスター

#### ハーシーキスチョコの包み紙

ハーシーキスチョコの銀色の包み紙はどうでしょう？豆電球は明るく光りました。包み紙を広げて試しても電気を通しました



ハーシーキスチョコで



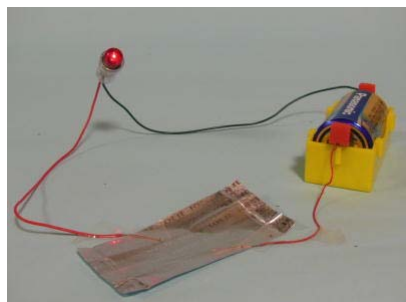
チョコの包み紙は電気を通す

#### チューイングガムの包み紙

チューイングガムの包み紙も銀色をしています。どうでしょう？広げてテスターで調べると、電気を通すことが分かりました



ガムを包んでいる銀紙は？



ガムの包み紙は電気を通す  
(文責：玉村かおり)

